

グローバル環境において
不可欠となった
MOT(技術経営)とMOT人材

パネルディスカッション
ダイバーシティ(多様性社会)の尊重と活用

東京工業高等専門学校
2014.9.9

ニテコン株式会社取締役
立命館大学 総合科学技術研究機構 上席研究員
立命館大学 テクノロジー・マネジメント研究科 (初代)研究科長・教授
阿部 惇

1

1. はじめに

2

フレデリック・パールズ・心理学者の言葉

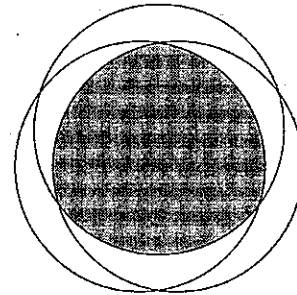
- どんなときも人生には意味がある。
- あなたを待っている誰かがいる。
- あなたを待っているなにかがある。
- そしてその誰かやなにかは、あなたに発見され、実現されるのを待っている。

3

3つの円の重なりがほぼ同じ円に近づくとき、
チーム力は爆発する
(野口吉昭、2003.9.19)より作成

したいこと

すべき
こと



できる
こと

4

仕事は上司一人でするものではない
ので、部下の可能性を引き出す「質問型
の上司」になることも必要だと思います。

人間は、考えろと言われても考える能力
が身につくわけではなくて、何か自分の
頭の仲に「問い」を持つときに初めて考
えられるようになるというのが、コーチン
グのとらえ方です。

(橋本英剛:CTIジャパン代表:2001.7.2)より作成

5

大変化の時代 科学的思考を

(清家篤・慶応義塾長:日本経済新聞:2009.8.24)より作成

自分の頭で考えるということは、科学的、
実証的な思考能力を身につけることである。

- 問題を発見し、
- その問題に関する因果の仮説を作り、
- その仮説を客観的に検証し、
- 結論を導き、
- それに基づいて問題を解決すること
である。

6

2. ダイバーシティを 価値創造につなげるために

7

ダイバーシティは 尊敬し尊敬される関係の構築から

- ・違いを敬う(お互いを知りあう)
- ・組織としての個の成長支援を!
- ・働き方の常識も問い直す必要がある

8

- ・グローバル競争市場では、多様な市場ニーズへの対応が勝敗を分ける。
- ・そのためには、多様な人材(専門分野、国籍、性別、年齢)が能力を発揮できる経営環境作りが不可欠になる。

9

- ・ 多様な人材のケミストリー・相互触発・チームワーク
- ・ 多様な連携
 - 産学連携、産産連携、産学官連携、産学金連携等
- ・ 多様な企業・組織の融合・役割分担
 - ベンチャーと大企業との相互依存関係
 - 中小企業と大企業との相互依存関係
 - 高専と地域密着企業の連携

10

チーム力の重要性

(瀧澤孝・明治大学教授、東洋経済ONLINE、2013.12.25)より作成

五輪招致チームの滝川クリステルさんは、チーム力を「化学反応」と表現しています。

- ・ 足し算ではなく、化学反応という融合によって新しいものが生まれる。
- ・ 化学反応を起こすには、クリエイティブな関係性をつくれることが、クリエイティブな人間である以上に重要だと思います。

11

共創のために有効なチーム構成員

- ・ アイデアを思いつく人
- ・ 本当に創造的で刺激的なモノか吟味する人
- ・ 試行可能なコンセプトに変える人
- ・ ビジネスモデルに発展させる人
- ・ 新製品や新事業を立ち上げる能力のある人
- ・ 資金を供給できる人

(フィリップ・コトラー、日本経済新聞、2013.12.24)より作成

12

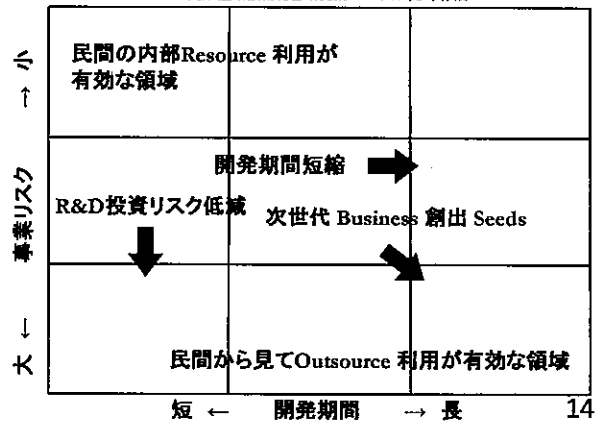
ベンチャー企業と大企業の役割分担が必要になった背景
 ~製薬企業の事例で説明~

- 新薬販売までに要する期間は、15~20年
- 成功確率は、候補化合物のうちの2万分の1
 ⇒大企業にとってもリスクが大きすぎる。
- 開発投資額は、500~1,000億円
 ⇒ベンチャー企業が負担できる金額を超えている。

ベンチャー企業が発見した新薬の種を大企業が事業化するという、win-win関係が成立する。

産学官連携のポートフォリオ

(小笠原敦:産業技術総合研究所2005.9.29)より作成



3. 技術者に求められる資質

技術は厳然として現代社会の基盤である。豊かで活気と成長力があり、安心できる社会、極言すれば人間の尊厳を守る条件を整えるのは技術であり、その担い手の中心は技術者である。

(大橋秀雄:日本技術者教育認定機構会長:日本経済新聞:2007.9.17)より作成

科学技術が未来を動かす「力」となる！

(JST産学連携技術移転事業パンフレット、研究成果の実用化に向けて、2013-2014)より作成

求める人材は、やりたい夢や志や目標をしっかりと持つことのできる人です。
夢や目標があれば、今の自分の実力がどれくらいで、目指す夢や目標とのギャップがどれくらいあるか推し測ることができます。
 実現するために何をすればいいのかわ、課題を自分で見つけることもできる。

(渡辺博昭:トヨタ自動車社長:プレジデント:2007.4.30)より作成

技術者に期待する資質(1)

豊かな夢を持ち、夢を希望にまで高め、希望をさらに目標とし、その実現に向かって全力をつくす。

(山下俊彦)より作成

19

技術者に期待する資質(2)

理想を掲げる現実主義者
(松下幸之助)

幻想を持たない理想主義者
(ケネディ)

20

“理想を掲げる現実主義者”たれ！

- ・可能性に向けたチャレンジの連続が夢の実現に繋がる
- ・技術は夢を実現する
- ・世界中の技術の進歩に目を光らせる、と同時に高い技術見識を獲得する
- ・筋のいい技術を見抜く力(目利き能力)
- ・スムーズに開けることができる独自の引き出しを持つ
- ・相互触発を大切にする

21

技術者に期待する資質(3)

MY VISION

MY TECHNOLOGY

MY PERSONARITY

行動力

専門性

独創性

個性



22

4. 日本を アジアの「知のハブ」に

(藤田昌久・経済産業研究所長:日本経済新聞:2010.1.5)より作成

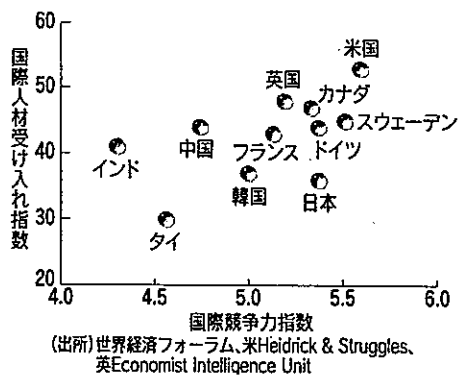
23

- ・日本が主要なハブとしてアジアとともに成長するには、世界中から多様な人材を吸収しつつ日本全体がイノベーションの場としての集積力を高める必要がある。
- ・ハブ形成でカギを握るのは、過去の日本の実績とともに、将来に対する期待である。
- ・明るい未来を自ら構想できなければ、明るい未来はやってこない。[サッチャー-英元首相]

24

国際競争力と人材受け入れの相関関係

(石倉洋子・一橋大教授、日本経済新聞、2010.9.30)



立命館大学

「グローバル・アジア・コミュニティ」に貢献し、
世界と協働できる人材を育成

(川口清史・立命館総長、教育ストーリー関西版「トップメッセージ特集、2014」より作成)

アジア版エラスムス計画

日中韓が連携した「キャンパス・アジア構想」

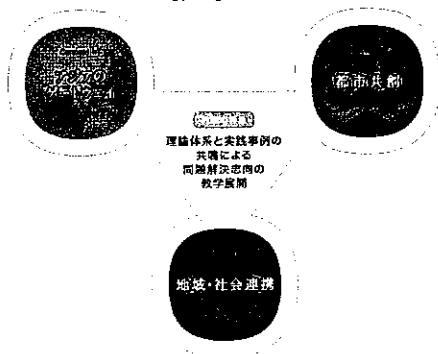
(川口清史・立命館総長、2011)より作成

- ・アジアについて学び、それぞれの国で多くの友人を持ち、
- ・教育・研究、経済・産業界、中央・地方行政機関、NGOなどの場でアジア的な視野を持って活躍し、
- ・アジアの将来に大きな肯定的影響を及ぼす人材の育成

○事例：キャンパスアジア・プログラム

- ・日中韓の国家プロジェクトとして、2013年2月から文学部でスタート
- ・各国から選抜された約30名の学生が2年間に亘って共同生活を送りながら3キャンパスをまわる。
- ・隣国の文化を理解し、認め合い同じアジアに生きる若者として、肯定的影響を及ぼせる力を養う。
- ・まもなく1期生がプログラムを修了。
- ・新しいアジアの未来を創っていける力量と絆が築かれている。

立命館大学大阪いばらきキャンパス ～3つの教学コンセプト～



Concept #1 アジアのゲートウェイ

課題先進国である日本の経験と知の蓄積を活かして、アジアから世界へ、世界からアジアへ人と人、知と知をつなぐ「ゲートウェイ」としての役割を發揮します。



Concept #2 都市共創

「都市」に集積する多様な人材や組織をつなぎ、都市の中に存在するポテンシャルを最大限に引き出し、それらを創造的に結びつけることによって、新たな価値の創出を目指します。



Concept #3 地域・社会連携

地域・社会と連携した教育・研究・学生活動を通して、相互の交流と信頼関係を育み、豊かな地域・社会の創造と人材育成に取り組みます。

